順天堂大学
先導的がん医療開発研究センター
2012 第2号
Leading center for the development and research of cancer medicine
ニュースレター

平成24年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

がんプロFDワークショップ

「がん医療維新プラン・共通教育科目のカリキュラムプランニング」

岩手医科大学医学部
腫瘍生物学研究部門
教授　前沢 千早

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン」の本格稼働を前に、「共通教育カリキュラムの策定」を目的としたFDワークショップが岩手医科大学の主催により、9月8、9日の両日、ホテル安比グランド（岩手県八幡平市安比高原）に於いて開催された。
今年はまれに見る厳しい残暑が続き、岩手でも前日までは連日30度超えの猛暑の日々であった。しかし、当日は一転して雨模様の天気となり、気温もだいぶ下がり、遠方よりおいで頂いた方々には、暑さを忘れるつかの間の避暑になったのではないか。

参加頂いた連携大学の皆様は、研究者（医学、薬学、医学物理、統計学）、臨床医、薬剤師といった多彩な職種の教員に加えて本がんプロに参加する学生さん、スタッフを合わせると総勢39名となり、まさに「全員参加の多職種がんチーム医療の教育プログラム」を話し合うには、ふさわしいメンバー構成となった。

「がん医療維新プラン・共通教育科目のカリキュラムプランニング」

冒頭のランチミーティングで、岩手医科大学 小林誠一郎 医学部長の歓迎の挨拶の後、早速、本がんプロの統括コーディネータである順天堂大学 髙橋和久 教授から、「がんプロ共通カリキュラムの構築　―ICTと人の循環の実現化を目指して―」という演題で基調講演を頂いた。講演の最後に髙橋教授からは、全国e-learningクラウドへの参加や、循環型の医療人育成の方略等について、このFDを通じて検討されることを期待する旨の発言があった。質疑応答後、各連携大学から独自のカリキュラムについてコースの概要や特色などの説明が行われ、活発な議論がなされた。

第二部では、4班に分かれて各班6ないし7名でグループワークによる共通教育カリキュラム作成に入った。班毎に、テーマを決め活発な議論が交わされた。共通教育カリキュラム作成にあたっての問題点の洗い出しや、e-learning、多職種チーム医療に係る教育のリソース、方略などが話し合われていた。第二部と第三部の間には、本FDのゲストレクチュアーとして、株式会社ビジネスコンサルタントの大崎桂子氏から、「イノベーションを促進するリーダーシップスキル、I-Lab」という演題でお話を頂いた。講演の中では、本FDのようなワークショップのグループ討議の進め方について、具体的アドバイスを頂き、第三部でのグループワークの活性化につながった。

各グループでの議論は白熱し、あっという間に夕食の時刻となり、この時点での議論はむしろ放散する方向にあったが、FDの主催コーディネータの杉山徹の、「この会の最大の趣旨は、がんプロ参加者の相互理解であります。そのためには、おいしいバーベキューで活発な議論を続けましょう」の一言で、ナイトセッション会場への移動となった。ナイトセッションでは、岩手の山海の食材を御賞味頂き、御満足頂いたものと勝手に思っているところである。

翌日は各グループとも朝早くから、昨夜の熱い議論をまとめ上げ、スライド作成、発表を行った。多職種チーム医療や臨床試験に係る、共通カリキュラムや、教員の循環交流による授業の提案などがなされ、杉山教授、髙橋教授からの総括でFDの一切を終了した。主催した私どもの不手際で準備不足もあり、循環型の医療人育成プログラムやICTのコンテンツ作りなど、次回開催FDに多くの課題を残す事になってしまったが、当初の最大の目的であった連携大学間の人と人を繋ぐ事のできた、素晴らしい教育研修会になったのではないかと思う。

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン連携大学院 平成25年度学生募集要項

大学院・課程	コース名	養成する専門分野	修業年限	日 程
順天堂大学大学院 医学研究科　医学専攻	次世代先導的がん 研究者養成コース	がん研究医	4年	【後期試験】 出願期間：平成24年11月19日(月)～平成24年12月19日(水) 試 験 日：平成25年1月10日(木)
岩手医科大学大学院 医学研究科　医科学専攻	緩和ケア地域連携を支援する 指導的医療人育成コース	緩和医療	2年 ・ 4年	出願期間：平成25年1月30日(水)～平成25年2月20日(水) 試 験 日：平成25年3月1日(金)
島根大学大学院 医学系研究科 医科学専攻	地域がん専門医育成コース	がん専門医	4年	【1次募集】 出願期間：平成24年9月10日(月)～平成24年9月14日(金) 試 験 日：平成24年10月16日(火) 【2次募集】 出願期間：平成25年1月7日(月)～平成25年1月11日(金) 試 験 日：平成25年2月16日(土)
鳥取大学大学院 医学系研究科 （医学部附属病院 看護師 キャリアアップセンター）	がん看護専門(認定)看護師 養成コース	認定看護師 (がん化学療法看護)	7ヶ月	出願期間(予定)： 平成25年5月27日(月)～平成25年6月10日(月) 試 験 日(予定)： 平成25年6月30日(日)
東京理科大学 薬学研究科 薬科学専攻修士課程	がんシステム・創薬研究者 養成コース	創薬医科学	2年	【一般】 出願期間：平成24年7月11日(水)～平成24年7月20日(金) 試 験 日：平成24年8月21日(火) 英語、専門科目 平成24年8月22日(水) 面接 他大学等からの推薦入試、社会人特別選抜も行っております。詳しくは直接お問い合わせ下さい。
明治薬科大学大学院 薬学研究科 薬学専攻博士課程	がん薬物療法のファーマシー・ サイエンティスト 養成教育コース	薬剤師	4年	＊予備審査出願期間： 平成24年11月19日(月)～平成24年11月29日(木) 出願期間：平成24年12月13日(木)～平成24年12月20日(木) 試 験 日：平成25年1月12日(土) ＊出願資格の認定が必要な受験者の場合、予備審査を行う。
立教大学大学院 理学研究科 物理学専攻博士課程	医学物理研究コース	医学物理士	3年	出願期間：平成25年1月15日(火)～平成25年1月18日(金) 試 験 日：平成25年2月23日(土)

○インテンシブコース

順天堂大学大学院 医学研究科　医学専攻	次世代先導的がん 専門医療人養成コース	がん治療	1年間 (20講義)
島根大学大学院 医学系研究科医科学専攻 鳥取大学大学院 医学系研究科医学専攻	山陰がん認定医療 スタッフ育成コース (島根大学、鳥取大学の合同事業)	地域がん認定医療	1年間
岩手医科大学大学院 医学研究科 医科学専攻	先導的がん臨床研究に 精通した医療人育成コース	トランスレーショナル リサーチ(TR) マネジメント	1年間 (3単位)
	先導的がん臨床研究に 精通した医療人育成コース	レギュラトリー サイエンス	1年間 (3単位)

出願の際は必ず「各校の募集要項」にて
詳細をご確認のうえ、出願してください。

情報コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

● 東京理科大学 第28回 薬学講座

2012年10月20日（土）　10:30～17:00（10:00開場）
東京理科大学神楽坂校舎1号館17階（記念講堂）

今後のスケジュール

がんプロシンポジウム

テーマ 「基礎研究を先進がん医療に活かす」
幹事校　東京理科大学
2012年11月30日（金）13:00～18:00　東京理科大学野田校舎

編集後記

9月8日、9日安比高原で岩手医科大学の主催で、平成２４年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の「がんプロFDワークショップ」が開催された。岩手が生んだ新渡戸稲造（1862－1933）生誕１５０周年の年、生誕地で「がんプロFDワークショップ」が開催されるとは、格別な感がある。本プロジェクトの柱である「先導的がん医療開発研究」の実現の観点からも、復興支援、被災地支援は、目下の急務である。その１つとして、「環境発がん制御研究」の推進は、極めて重要なテーマである。神戸震災復興支援にあった人から中皮腫が発生したことは記憶に新しい。同様なことが今度も繰り返されることを憂いうることは、「先憂後楽のがん研究者」の「社会貢献」としては、当然であろう。国民の健康障害に関する重要課題解決型研究として、「アスベスト・中皮腫」の克服に向けた総合戦略は「目下の急務」である。岩手医科大学と連携する本プロジェクトの使命でもあり、「発症前診断の確立、新規治療法の開発」に向けた統合的な研究を目指す。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター
順天堂大学がん生涯教育センター
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン　広報委員会
発行　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン